

「赤ちゃんふれあい体験学習」

(思春期健康教育)について

実際に参加した生徒・ママ・ボランティアさんの声

自分の経験が少しでも役立てられれば嬉しいと思い参加しました。中学生は一生懸命話を聞いたり、赤ちゃんをこわごわ抱っこしたりしていました。結婚する・しない、子どもを育てる・育てないを選ぶ幸せを大切に、人生を歩んで欲しいです。



育児中のママ

妊婦さんの苦勞が良くわかりました。今度見かけたら助けてあげたいと思いました。赤ちゃんのお世話はとても大変だけど、その疲れを癒してくれる特別な存在。自分の親がどれだけの愛情を自分に注いでくれて、今の自分がいることがわかりました。改めて親に感謝の気持ちが湧いてきました。将来、自分が親になった時、今日の事を思い出して活かしていきたいです。

中学生

親をうとうしいと思うこともあると思いますが、大きくなるまでには、親に支えられて生きてきたことを再確認して欲しいです。恥ずかしそうにしていた男の子たちが、赤ちゃんを抱っこすると、みんな優しい顔になって、赤ちゃんも気持ちよさそうにしていました。良い経験でした。



ボランティア

核家族化や少子化の影響により、赤ちゃんとの接触が少なくなっている区内の中学生が、育児中のお母さんたちから体験談を聞き、赤ちゃんにふれあう事業です。

参加した中学生は、このふれあいの中で、赤ちゃんをかわいいと思う気持ちや、命の尊さを学んだようです。また、赤ちゃんがお父さんやお母さんをはじめたくさんの人に愛されて育つことを知り、家族に支えられて大きくなった自分を再確認したようです。